

きんろうどういん 勤労働員



せいじんだんせい ちょうへい ろうどうりょく
成人男性の徴兵で労働力
うしな にほん しょうわ ねん
を失った日本は、昭和14年
ねん こくみんちょうようれい
(1939年)の国民徴用令で
ちゅうこうねんだんせい がくと
中高年男性を、さらに学徒
きんろうどういんれい ちゅうがくせい
勤労働員令で中学生・
じょがくせい こうじょうろうどうしゃ
女学生を工場労働者とし
しょうわ ねん ねん
た。昭和19年(1944年)の
じょしていしんきんろうれい さい
女子挺身勤労令では、14歳
さい じょせい
から40歳までの女性が
ぐんじゅこうじょう どういん
軍需工場などに動員され
た。